

第7章 街づくり 第4節 交通

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響			
			会計	投入コスト		活動実績(H30)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの				
交通安全課	実施計画ランク		H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標値を毎年ほぼ達成しており、バリアフリーの促進について一定の成果があげられていると考えている。今後については、継続事業及び未完了の項目について各事業者等に働きかけ、誰もが移動しやすいまちづくりの促進に努めたい。	H30年度に改善した点	有	無				
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	8,380千円	5,944千円	①特定事業のうち、継続中又は実施済の事業数 ②駅ボランティア体験会等参加者数 ③ノンステップバス導入率	継続中又は実施済の特定事業数の割合	「所沢市交通バリアフリー基本構想」に基づく特定事業の総数(153事業)に対する、継続中又は実施済の特定事業数の合計を成果指標としている。	H30年度目標						H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析		
	根拠法令		H30予算現額	H30決算額(見込み)												80千円	70千円
	交通バリアフリー推進事業	事業の目的及び具体的な内容	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	100%	H30実績	H30目標値が未達成の理由・分析						H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析	
	期間	高齢者や障害者をはじめとした全ての人が、公共交通機関などを利用した移動にあたって、利便性及び安全性向上を促進させるために作成した「所沢市交通バリアフリー基本構想」に基づき、特定事業の進捗状況を管理し、市のHPで情報提供を行う。併せて、より質の高いバリアフリー社会の実現を目指し、ハード施策である「内方線付き点状ブロック整備事業」、及び「駅ボランティア事業」をはじめとするソフト施策を実施する。	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合													0.60人
	H16年度～		H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	0.40人	非常勤特別職	100%	H30実績						H30目標値が未達成の理由・分析	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析
		H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	3,352千円	臨時職員	100%	H30実績	H30目標値が未達成の理由・分析	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析						
交通安全課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	整備計画に基づく道路拡幅工事については平成30年度中に完成した。鉄道事業者との基本協定を平成30年度中に締結する予定だったが、次年度も継続して協議することとなった。	H30年度に改善した点	有	無				
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	189,196千円	122,063千円	①事業に係る整備面積 ②鉄道事業者交渉回数 ③	事業に係る整備面積	策定された整備計画の早期実現に向け、今後、各整備項目についての整備が必要となることから、対象となる工事等の面積を成果指標としている。	H29年度目標						H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析		
	根拠法令		H30予算現額	H30決算額(見込み)												48,614千円	46,287千円
	西所沢駅西口開設推進事業	事業の目的及び具体的な内容	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	—	—	H30目標値が未達成の理由・分析						H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析	
	期間	地元自治会等からの請願が提出され、市議会で採択されたことを受け、西所沢駅利用者の利便性向上及び安全性確保を目的として、平成27年度に「西所沢駅西口開設整備計画」を策定した。これに基づき、改札口及び送迎車用転回広場等の整備に向け、用地取得、調査・設計・工事、関係機関との協議などの取り組みを行う。	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合													1.65人
	H17年度～		H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	14,000千円	臨時職員	551.10㎡	551.10㎡						目標達成済	H29年度目標	H29実績	目標達成済
		H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	1.80人	非常勤特別職	—	—	目標達成済	H29年度目標	H29実績	目標達成済						
		H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	15,084千円	臨時職員	—	—	目標達成済	H29年度目標	H29実績	目標達成済						
企画総務課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	平成28年度に出された交通政策審議会答申をもとに、光が丘から東所沢までの延伸を「一体整備」として進めていくため、埼玉県と東京都に対する要望活動を行った。また、延伸実現のための課題を整理するための基礎調査を実施した。引き続き、延伸促進協議会と連携を図り、課題解決に向けた取り組みを行っていく。	H30年度に改善した点	有	有				
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	37千円	33千円	①会議の開催 ②要望活動 ③	延伸距離(光が丘駅～東所沢駅)	光が丘駅から東所沢駅までを延伸するため、延伸する距離	H29年度目標						H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析		
	根拠法令		H30予算現額	H30決算額(見込み)												337千円	334千円
	都市高速鉄道12号線導入促進事業	事業の具体的な内容及び目的	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	12.7km	0km	H30目標値が未達成の理由・分析						H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析	
	期間	東武東上線と西武池袋線に挟まれた鉄道不便地域の解消を目的として、練馬区、新座市、清瀬市、所沢市で構成する「都市高速鉄道12号線延伸促進協議会」を開催し、また延伸促進の早期実現に向け、国(国土交通省、関東運輸局)、東京都、埼玉県等へ要望活動を実施する。	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合													0.21人
	H5年度～		H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	1,782千円	臨時職員	12.7km	0km						交通政策審議会の答申で「一体整備」として評価され、延伸促進協議会において検討を進めているが、延伸距離としては整備事業等の進捗によるものであるため。	H29年度目標	H29実績	交通政策審議会の答申で「一体整備」として評価され、延伸促進協議会において検討を進めているが、延伸距離としては整備事業等の進捗によるものであるため。
		H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	0.31人	非常勤特別職	12.7km	12.7km	交通政策審議会の答申で「一体整備」として評価され、延伸促進協議会において検討を進めているが、延伸距離としては整備事業等の進捗によるものであるため。	H29年度目標	H29実績	交通政策審議会の答申で「一体整備」として評価され、延伸促進協議会において検討を進めているが、延伸距離としては整備事業等の進捗によるものであるため。						
		H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	2,598千円	臨時職員	12.7km	12.7km	交通政策審議会の答申で「一体整備」として評価され、延伸促進協議会において検討を進めているが、延伸距離としては整備事業等の進捗によるものであるため。	H29年度目標	H29実績	交通政策審議会の答申で「一体整備」として評価され、延伸促進協議会において検討を進めているが、延伸距離としては整備事業等の進捗によるものであるため。						
企画総務課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	地域公共交通会議において、ところバスの利便性向上や新しい交通手段の導入について具体的な検討を進めているほか、三ヶ島地区等で地域住民との協働を開始するなど、所沢市の地域公共交通の充実を目指した取り組みを確実に進めている。	H30年度に改善した点	有	有				
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	855千円	476千円	①地域公共交通会議の開催 ②アドバイザーの活用 ③	市内の地域公共交通年間利用者数	市内の路線バス及び市内循環バス(ところバス)年間合計利用者数	H29年度目標						H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析		
	根拠法令		H30予算現額	H30決算額(見込み)												995千円	598千円
	地域公共交通検討事業	事業の具体的な内容及び目的	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	13,000,000人	10,734,928人	H30目標値が未達成の理由・分析						H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析	
	期間	本市における市内各地域の交通弱者等に対する円滑な交通手段の確保及び利便性を向上させるための対策について検討するものであり、所沢市地域公共交通庁内検討委員会及び所沢市地域公共交通会議等により、地域公共交通の方向性や具体的な施策について検討を重ねている。	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合													0.75人
	H26年度～		H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	6,364千円	臨時職員	10,744,000人	10,746,860人						目標達成済	H29年度目標	H29実績	目標達成済
		H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	1.00人	非常勤特別職	10,744,000人	10,746,860人	目標達成済	H29年度目標	H29実績	目標達成済						
		H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	8,380千円	臨時職員	10,754,000人	10,754,000人	目標達成済	H29年度目標	H29実績	目標達成済						

第7章 街づくり 第4節 交通

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費		成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響		
			会計	投入コスト	活動実績(H30)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの	
交通安全課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	バス路線が整備されていない地域の住民や高齢者・障害者等の身近な交通手段として定着しつつある。しかし一方で、運行本数や運行距離といった利便性の面で課題がある。現在の事業規模を維持しつつ市民の利便性向上を図れるよう運行の改善、効率化を目指していく。	H30年度に改善した点	有	無
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	136,925千円	130,255千円	①年間総利用者数 ②年間運行便数 ③特別乗車証利用者数(運転免許返納に伴う無料乗車券利用者を含む)	年間総利用者数	バス運行事業の目的の通り、公共施設利用者、交通不便地域の住民や高齢者・障害者など、多くの市民に利用されているかを計るため、年間総利用者数を成果指標とする。						
	根拠法令	-	H30予算現額	H30決算額(見込み)				137,839千円					
	市内循環バス(ところバス)運行事業	事業の目的及び具体的な内容	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析					
	市民の公共施設利用の利便性向上、市内の交通不便地域の解消、及び高齢者・障害者をはじめとする市民の交通の利便性を図ることを目的とし、市内の4路線6コースにおいて、1日計54便のバスを運行している。	1.20人	非常勤特別職	373,000人		392,967人							
	期間		10,182千円	臨時職員	①396,626人	H30年度目標	H30実績	目標達成済					
	平成10年度～		H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	②19,386便	378,000人	396,626人						
			1.25人	非常勤特別職	③274,709人	R元年度目標							
			10,475千円	臨時職員		383,000人							
										運行本数及び路線の長大化に伴う遅延などの課題があることから、今後、「所沢市地域公共交通会議」で作成された答申に基づき、運行の改善、効率化を目指した抜本的な見直しを検討する。			